

## 平成26年度第2回地方独立行政法人市立秋田総合病院評価委員会会議録

議 題：1 法人の業務および事業の評価について  
2 その他

日 時：平成26年11月21日（金）14：00～14：35

場 所：秋田市役所議場棟 第2委員会室

出席者：【評価委員】鈴木委員、池村委員、野口委員、河野委員、佐藤委員  
【事務局】田口福祉保健部長、辻福祉保健部次長、秋山福祉総務課長、  
眞崎参事、西田主席主査、西崎主任、佐藤主事

### 議 事 開 会

事務局 ただいまから「地方独立行政法人市立秋田総合病院評価委員会」を開会する。  
本日は、5名の委員の出席をいただいている。  
会議の進行を、委員長にお願いします。

---

### 【議事（1）】 法人の業務および事業の評価について

委員長 議事の「（1）法人の業務および事業の評価について」に関して、事務局に説明を求める。

事務局 （資料1、2、3に基づき説明）

委員長 ただいまの説明に、ご意見、ご質問等があれば、お願いします。  
資料1では、1ページが「評価を通して、法人の運営状況を分かりやすく社会に示す。」という文言になったこと、3ページが中期目標期間評価について評価開始時期を9月からとし、法人からのヒアリングを実施するということ、また4ページの4行目が「速やかに」というのはそのまま、解釈を5月から6月にしてもらいたいということだった。この辺はよろしいか。

（異議なし）

委員長 資料2、資料3の評価基準に関してご意見はないか。

委員 様式の記述例で挙げられているものは、評価指標がある項目で非常に分かりやすいと思うが、評価指標のない項目はなかなか大変だろうと思う。  
数値があるものは、なるべく計画に対して、それを適切に表す指標、あるいは補足する指標も見たい。  
この例を見ると、たまたまだとは思いますが、24時間365日救急患者の受

入れを行うという項目に対して、受入れ件数という単に件数の数量が指標になっている。件数は病院としてはコントロールできない外的要因であるため、救急患者の受入れの対応を継続しているかはうまく表現できていない。この場合、24時間365日のうち実際何日対応できた、あるいは、そもそも何件の依頼があつて2,250件対応できたというような比率が分かる指標にするなど、評価指標の工夫を病院側で特にしていただきたい。

他の指標もなるべく適切に表せるような工夫をしていただきたい。数値化できないものは仕方ないと思う。

委員長

私も全く同じ考えである。

単に数字だけの評価ではなく、例えば、件数は少なくとも小児救急は市内の搬送件数のほとんどが市立秋田総合病院に来たという結果に結びついた状況があれば、評価はSかもしれない。

これは極端な例であるが、数字の根拠というか指標について、資料をいただきたいが、お願いできるか。

事務局

ご意見いただいた件については、来年度の年度計画を作成する前までには病院へ伝え、そのように工夫するよう事務局としてお願いしておく。

委員

評価の实质が上がるということが非常に重要な点だろうと思う。

2段階に分けて考えていく必要があると思う。

1段階目は実績報告書が提出されると思うが、記載された数値目標以外にも、こういうこともやっているという資料を病院側から自主的に提出をしていただくということである。

2段階目は、資料1の3ページだが、年度評価でも中期目標期間評価でもよいが、実際に評価に先立ってヒアリングを行う前に、私どもが見た範囲で足りない資料は要求し、その後ヒアリングして「補足資料要請・検討」ということで提出を要求することである。

最初は自主的な提出という段階だろうが、この2つの段階を充実したものにすれば、ただ今のご指摘にある程度応えられていくと思う。

委員長

評価に至るまでのプロセスでは、きめ細かく、我々が外部評価できるような色々な資料を要求するし、病院側は自主的に評価指標を提出していただければと思う。

事務局

段取りについては、そのような方向で進めるよう対応していく。

委員長

その他には何かあるか。評価基準についてはいかがか。

あくまでも目安ということで、最終的にはこれにこだわらず評価できるわけなので、文言として文章に落とし込むとすればこれでよろしいか。

委員

評価は厳しめが良いという点で言えば、SABCDを拝見すると、特に問題

となるのは順調という評価をしてよいかというところだと思うが、順調の評価をするためには、かなり厳しい基準を設けておられる。

姿勢としては良いのではないか。

事務局

そこは、そもそもが法人自身が立てた計画であるということに鑑み、少し厳しくした方が良さだろうという考えでまとめたものである。

委員

資料1の4ページ、5についてだが、これはこれで良いのだが、果たして評価委員会の評価の基本方針に含めるものなのかと感じる。

根拠が、地方独立行政法人法の第31条ということだが、評価委員会に評価を求めているわけではないのではないか。

事務局

そのとおりである。意見を聴くということになっている。

委員

本来であれば、ここには入れないものと思うが、よしとする。

細かいことだが、資料2の2ページの「法人による自己評価」のVからIまで、それから「評価委員会による評価」のSからDまでの評価基準については、私も一応は妥当だと思うが、特に「法人による自己評価」については、やはり計画が定性的な記述になっている場合には、必ずしもパーセンテージや割合だけを見ていくわけではないという意味で、上記の基準に基づいて委員会で判断していくという一節を入れておいた方が、委員長が言われた趣旨も明確になるのではないか。

パーセンテージがある場合は、パーセンテージが優先されるが、定性的なものもあるから、そこはこれに準じるという一節を加えた方が良いと思う。

事務局

確かにSからDには米印で目安という記載があるが、VからIには目安という言葉がない。

例えばだが、定量的な指標がない項目については、上記基準に準じて評価委員会で評価するというような文言を加えたい。

委員

2つ目は、「評価委員会による評価」について、3ページの上から5行目、まさに今取り上げられたところだが、「目安であり、社会情勢等の変化による遅れや」というのは、評価とは別の話である。外的な要因を考慮するという意味だと思うので、今の話とは一緒にしない方が良い。一番最後のところの「小項目の重要性」は「小項目ごとの重要性」という方が、はっきりすると思う。

3つ目だが、資料2の1ページ、評価を実施していく中で、法人としては、特色ある取組等の特記事項を付すということとされているが、この様式1を見ると、特記事項に相当する部分がないように思える。

欄まで設ける必要性はなく、書き込めばよいという理解であれば、そのままでもよいと思うが、自己評価の理由の上辺りに特記事項欄を設けてもよいのではないか。

|     |   |
|-----|---|
| 事務局 | 様式については、再度検討させていただきたい。  |
| 委員長 | 本日出た意見を踏まえ、原案を修正するということでよろしいか。  |
| 事務局 | そのようにする。  |
| 委員長 | では、修正については委員長一任ということでお願いします。  |
| 委員  | 様式2については説明はないのか。  |
| 事務局 | 様式1とほぼ同じ内容なので説明は割愛させていただく。  |
| 委員  | では、様式2について、1ページの業務実績および自己評価の理由欄の年度評価結果は、法人が6月までに業務実績報告書を提出することを考えれば、平成26年度から29年度までは、評価委員会の評価結果であり、平成30年度は法人の自己評価ということになる。<br>各年度の並んでいる評価結果の性格が異なることを明確にしておく必要がある。<br>また、評価する上では、平成30年度を評価委員会がどう評価したのか、その結果の記載があれば良いと思うがどうか。 |
| 事務局 | 平成30年度の評価委員会の評価結果を盛り込むよう書式を訂正させていただく。   |
| 委員  | そうすることによって、過去5年間の評価委員会の年度評価結果を確認しながら、最終的に中期目標期間評価ができることになる。<br>公表されるものなので、分かりやすさという意味では必要なことだと思う。   |
| 委員長 | 追加修正ということで、お願いします。  |

---

**【議事(2)】** その他

|     |   |
|-----|---|
| 委員長 | 次に「(3) その他」について、各委員・事務局から何かないか。   |
| 事務局 | それでは、第2回会議録については、まとめ次第、電子メール等で送付するので、確認をお願いします。また、本日の会議で修正した規程については、そのときに併せて、お送りするのでよろしくをお願いします。<br>なお、今年度の評価委員会は、今回が最後の予定である。<br>この後、事務局としては、法人へ評価基準等を説明し、平成27年度計画の作成や来年度の事業年度評価の実施に向けた協議を行うこととしている。 |

|     |   |
|-----|---|
| 委員長 | 事務局からは以上である。<br>以上で議事を終了するが、他に何かないか。<br>他になければ、進行を事務局へ返す。 |
| 閉 会 |   |
| 事務局 | 平成26年度第2回地方独立行政法人市立秋田総合病院評価委員会を終了する。                      |